（様式第１－５号）

　市町村名：　島本町

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）２　地域就労支援分野（事業名：地域就労支援　）３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野（事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。　 １．新規　２．継続 【交付対象となった年度：平成２９年度】【 現 状 】　相談者の中には、メンタルヘルスの課題があったり、社会に対する不安感からひきこもり状態である人がおり、就労に向けての自信や意欲を高めるためには、就労に関する体験を積むことが有効である場合が多い。【現状における課題】　長期に渡る離職状態や、引きこもり状態の人などは、様々な社会体験や人との交流の経験が乏しいため、ハローワークの同行や求人情報の提供などの支援だけでは就職につながりにくく、一般就労に向けたメニューの工夫が必要となっている。【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。相談者に対して就労に向けた体験型の支援メニューを提供した。経済的、社会的自立を目指す人に対し、様々な社会体験や就労体験を積み重ねることで、就労への意欲や意識を高め、就労につなげることを目的とした。具体的には、地域の里山保全ボランティアグループの協力を得て、里山整備・農業体験学習を随時実施した。竹林の伐採、雑草の除去、畑の耕作、農作物の植え付け、収穫などのグループ作業に参加することで、働くことの達成感や、働く意欲の向上につながった。可能な場合は週1回のペースから実施し、相談室では完結しない実際の就労へのステップアップを支援した。 |